

【陸上記録会が行われました 5月20日】



【800m 生方ひかるさん】

張の中で待っている厳しい状況もありましたが、全員が集中して取り組むことができました。

参加者の中で、生方ひかるさんが800m3位、(2分47秒1) 島田君・小川君・石塚君・小澤君が100m×4リレー準優勝(61秒2)をおさめました。

すばらしい天気の中、5月20日に渋川市総合公園陸上競技場で、渋川地区予選会兼記録会が行われました。

長尾小学校は、日頃体育部で練習をしている児童の中から50人が参加しました。

体育部の練習に取り組む中で、自分が得意とする種目を選んで、100m、80m H、1000m、800m、走り幅跳び、ソフトボール投げ、4×100mリレーにエントリーしました。

プログラムの時間どおりに運営されたことで、スタート位置に待機した児童が長い時間、緊



【第1走 小澤君】

【5月24日 不審者対応の避難訓練を実施しました】



【訓練:下校時に声をかけられたら】

5月21日の第3校時を使って、不審者が校内に侵入したことを想定しての避難訓練を実施しました。

群馬県警察スクールサポーターの下田さんが不審者に扮し、2年1組の校庭側に面した出入り口から進入しました。担任の三枝先生が1組の児童を教室から全員避難させると、不審者が1組の教室から他の学級へ移動しないように椅子をもって、不審者の動きを制する努力を続けました。しばらくして、不審者侵入の連絡を聞いた担任外の教職員がさすまた等の道具を使って不審者に立ち向かいました。続けて到着した北牧駐在所の土屋さんが不審者を制圧しました。

訓練ではありましたが、模擬刀も振り回しての迫真の演技に教職員も本番さながらの緊張感をもって取り組みました。

校庭に避難した児童は、北牧駐在所の土屋さんの避難についての話を聞いた後、スクールサポーターの下田さんに実際に下校時、不審者に声をかけられたときの対応の仕方を教えていただいたり、実際に大きな声を出してにげたりしました。

昨年度、3学期には渋川地区でも不審者がたびたび出没して、集団下校の措置をとったこともありました。

今年度は、子供たちにも交通安全や不審者への対応等「自分の命は自分で守る」という意識を継続してもてるように毎週月曜日を集団下校としました。ご家庭でも、集団下校の意義をご理解いただき、機会をとりえて交通安全や不審者への対応について話してください。



【訓練:自動車の中から
声をかけられたら】

【天气に恵まれ尾瀬学校を実施することができました 6月8日】

6月8日、天気にも恵まれ、5年生が尾瀬学校を実施しました。

5時50分に学校に集合し、教頭先生と担任の先生から話を聞いた後にバスに乗り込みました。4台のバスは、6時10分に学校を出発し、鳩待峠に8時45分頃到着しました。

鳩待峠では、ガイドさんと準備運動をしたり、写真を撮ったりしました。トイレを済ませ、尾瀬の湿原に向けて出発しました。山ノ鼻ビジターセンターまでのみちのりをデジタルカメラで風景や植物を撮ったり、休憩をとったりしながら進みました。昼食は、グループごとに食べました。山ノ鼻ビジターセンター近くで食べるグループや尾瀬研究見本園まで行って食べたグループもありました。雷雨注意報が出ていたため、牛首より先の湿原には進まず、鳩待峠に戻りました。

鳩待峠までの急な登り坂は、疲れている子供たちにはかなりきつく感じられました。

全グループが無事鳩待峠にもどり、予定時刻より1時間早く出発しました。学校への道も渋滞なく、5時頃に到着しました。

子供たちは総合的な学習の時間で、事前に尾瀬の自然について調べた上で、今回の尾瀬学校にのぞみました。尾瀬の実際の自然に触れいろいろなことを感じたことと思います。また、自分たちの印象に残ったところをデジタルカメラで撮ってきました。今、子供たちはそれらの記憶と記録を「環境」という視点でまとめています。その成果は7月の学校公開日に発表する予定です。子供たちが感じた尾瀬、そして、その体験から学んだ環境についての考えがどのようなものだったのか学校公開日当日を楽しみにしてください。



【ガイドさんを先頭に木道を歩く】

【心肺蘇生講習会 お世話になりました 6月11日】



【実技に取り組む保護者】

心臓マッサージは、思っていたよりも力が必要で、胸の中央を両手で4、5センチ沈みこませ、リズム良く20回行うとかなりの疲れを感じます。心臓マッサージ20回と2回の人工呼吸を繰り返します。AEDが運ばれた後は、AEDの電源を入れて、音声ガイドにしたがって操作をします。そして、再度、心臓マッサージと人工呼吸。

参加していただいた保護者の方々も初めのうちは緊張していましたが、実技を行う中で、協力して声を掛け合いながら取り組んでいました。

講師をしていただいた隊員からは、長尾小学校の保護者が真剣に、そして、和やかに講習に取り組んでいただいたことを高く評価していただきました。

3時30分からは、保護者対象の講習会と同じ内容で、長尾小学校の教職員が受講しました。

心肺蘇生は、その技術を使う事態は起こって欲しくないことですが、使わなければならない状況に遭遇した時には、訓練を受けていないとできないことでもあります。

今回は、夏休みにプールでお世話になる1年生の保護者を対象としましたが、私たちの生活の中で、いつそのような事態に遭遇するかわかりません。教職員には、毎年受講する中で、確実な技術の習得が必要であると考えています。

6月11日に、夏休みのプール当番を担当していただく1年生の保護者を対象に心肺蘇生講習会を行いました。2時から1年生の保護者34名が参加し、講師として渋川広域消防北分署の4名の隊員においでいただき、講義の後にダミーを使っての実技を行いました。

実技は、次のような流れで行いました。

【対象者の意識の確認→援助してくれる人に救急車の要請とAEDの依頼→心臓マッサージ・人工呼吸の実施→援助してくれる人と協力してAEDの装着→心臓マッサージ・人工呼吸の継続】



【実技に取り組む本校職員】